

## 2. 18歳以上で知的障害のある方向け調査票

### しょうがい 障害のある人のくらしをよくするための調査

#### 【ご協力のお願い】

いつも自黒区にご協力いただき、ありがとうございます。  
自黒区では、障害のある人が安心して暮らせるようにするための新しい計画を考えています。

そのために、皆さんの生活のこと、こうしてほしいという気持ちを大きく調査をします。  
この調査票は、障害に関する手帳をもっている人などに送っています。  
皆さんにこたえていただいた内容は、自黒区公式ウェブサイトでお知らせします。  
この調査票には名前を書くところがないので、だれがこたえたかわかりません。  
安心して、自分の思ったことを書いてください。

ご協力をお願いします。

令和7年9月 自黒区

#### 【アンケートのこたえ方】

- 10月3日(金)までにこたえてください。
- 2つの方法があります。好きなほうを選んでください。
  - この紙にこたえを書き、ゆうびんで送る
    - この紙にこたえを書き、いっしょに入っている封筒に入れ、ポストに入れて送ります。
    - 切手はいりません。
    - 封筒に自分の名前は書かないでください。
  - インターネットでこたえる
    - スマートフォン、パソコンを使います。
    - QRコードを読み取るか、書いてあるURLを開きます。
    - 入力するときは、あなたのパスワードを入力してください。
    - 回答するときにメールアドレスを入れる必要はありません。

#### 【こまっただときは・・・】

- だれがこたえればいいのか  
→ 送られてきた封筒に書かれている名前の人がこたえます。  
ひとりでこたえるのがむずかしいときは、家族、あなたを助けてくれる人と相談しながらこたえてください。
- こたえたくないとき、わからないときは？  
→ こたえなくて大丈夫です。


#### 【こまっただことがあれば、きいてください】

自黒区 健康福祉部 障害施策推進課 計画推進係

電話番号：03-5722-9848（直接つながります）

ファックス：03-5722-6849

メールアドレス：shoshisaku01@city.meguro.tokyo.jp

QRコードとURL	あなたのパスワード
 <a href="https://comon-research.com/meguro3">https://comon-research.com/meguro3</a>	

※すべて半角

※すべて数字

問1 だれがアンダーナーにこたえますか。(1つだけに○)

1. あて名のあなだがこたえる (だれかに手伝ってもらった場合も1に○)
2. おとうさん、おかあさんなどの家族がこたえる
3. 家族ではないけれど、あなたを助けてくれる人がこたえる
4. そのほかの人がこたえる

～ あて名のあなたについて ～

問2 あて名のあなたの性別と年齢をおしえてください。(1つだけに○)

1. おとこ
2. おんな
3. その他

年齢 ( ) 歳

40歳以上の人にききます

問2-① あなたには、介護保険の認定がありますか。(1つだけに○)

1. 認定されていない
2. わからない
3. 「要支援」・「要介護」と認定されている

介護保険  
年をとったり、病気をしたりなどで生活がむずかしくなったときに、介護などの要請の人が支援してくれる

認定されている人にききます

問2-② あなたが使っている介護サービスすべてに○をしてください。

1. 自宅で受けるサービス……………ホームヘルプ、入浴、着脱、リハビリなど
2. 自宅から通うサービス……………デイサービスなど
3. 施設などに泊まる、くらすサービス……………ショートステイ、老人ホーム、グループホームなど
4. 生活しやすくするサービス……………福祉用具、家の修繕など
5. その他のサービス
6. わからない
7. 利用していない

デイサービス  
「日中に自宅から通い、生活の練習、いろいろな活動に参加する場所」

～ 障言や病気について ～

問3 手帳についておしえてください。

(1) 愛の手帳に書いてある程度をおしえてください。(1つだけに○)

- 1 度
- 2 度
- 3 度
- 4 度

(2) あなたは、身体障害者手帳をもっていますか。(1つだけに○)

1. もっている
2. もっていない

もっている人にききます

(2)① 手帳に書いてある程度をおしえてください。(1つだけに○)

- 1 級
- 2 級
- 3 級
- 4 級
- 5 級
- 6 級

(2)② 手帳に書いてある障言の部位、すべてに○をしてください。

1. 視覚
2. 聴覚、平衡機能
3. 音声、言語、しゃく機能
4. 肢体不自由(上肢、下肢、体幹機能)
5. 内部障言(心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、盲腸、小腸、免疫機能)
6. ほかにあれば書いてください( )

(3) あなたは、精神障害者保健福祉手帳をもっていますか。(1つだけに○)

1. もっている
2. もっていない

もっている人にききます

(3)① 手帳に書いてある程度をおしえてください。(1つだけに○)

- 1 級
- 2 級
- 3 級

問4 あなたの障害、病気など、すべてに○をつけてください。

- 発達障害……………脳機能の発達により、物事のどらえかたや行動に特性があり、毎日の生活に困りごとがある
- 高次脳機能障害……………単発や複数により脳の損傷があり、覚える、感ったことを話したり行動することがむずかしくなる
- 精神疾患……………うつ病、統合失調症などがよく知られており、脳機能に乱れが生じる
- 雑病……………原因がはっきりわからず、治療がむずかしい病
- 日常的に医療的ケアが必要・人工呼吸器、栄養や薬を届ける管(カテーテル)などが必要
- あてはまるものはない

問4-① 今、あなたが受けている医療的ケアすべてに○をつけてください。

- 人工呼吸器……………息を助ける機械をつける
- 気管切開……………喉から気管に穴をあけて息をしやすいとする
- 鼻咽喉エアウェイ……………鼻から管(カテーテル)などを入れて息をしやすいとする
- 酸素療法……………必要な酸素を取り入れる
- たん吸引……………痰などを取りのぞく
- ネブライザー……………薬を霧にして届ける
- 経管栄養……………体に管(カテーテル)などを入れて栄養を届ける
- 中心静脈カテーテル……………血管から薬、栄養を届ける
- 皮下注射……………注射をする
- 血糖測定……………ぶどう糖の量を管理する
- 継続的な透析……………腎臓のかわりに機械で血をきれいにする
- 導尿……………尿に管(カテーテル)を入れて尿を外に出す
- 排便管理……………便を出しやすいするための薬を飲む
- ほかにあれは書いてください

～家族について～

問5 今、あなたはどれにあてはまりますか。(1つだけに○)

- ひとりですんでいる
- 家族といっしょにすんでいる ( )
- 障害者グループホーム、福祉ホーム、障害者グループホーム、福祉ホーム、編組ホーム、施設、手助けや見守りがある少人数のホーム
- 施設
- 病院
- ほかにあれは書いてください

家族といっしょにすんでいる人にききます

問5-① 今、あなたがいっしょにすんでいる人すべてに○をしてください。

- 夫、妻
- おとうさん
- おかあさん
- おじいさん、おばあさん ( )
- 子ども、まご
- おにいさん、おねえさん、おとうと、いもうと
- しんせき
- ほかにあれは書いてください

問6 あなたの世話、手伝いを一番してくれる人はだれですか。(1つだけに○)

- 夫、妻
- おとうさん
- おかあさん
- おじいさん、おばあさん
- 子ども、まご
- おにいさん、おねえさん、おとうと、いもうと
- しんせき
- ともだち、知っている人
- ボランティヤ
- 介護や支援の仕事をしている人
- 区役所、保健所、子ども家庭センターなどの人
- ほかにあれは書いてください
- 世話、手伝いはいらない ( )

問6で「1.～7.」とこたえた人にききます

問6-① その人は何歳ですか。(1つだけに○)

- 13歳未満
- 13歳～15歳
- 16歳～18歳
- 19歳～22歳
- 23歳～39歳
- 40歳～64歳
- 65歳～74歳
- 75歳以上
- わからない

～ どのように過ごしているかについて ～

問7 あなたは、1週間のうちどれくらい外に出かけますか。(1つだけに○)

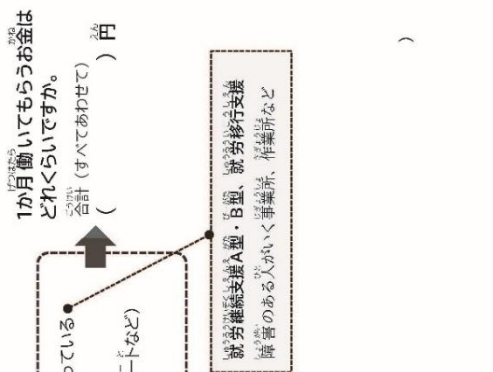
1. 毎日出かける
2. 1回～6回出かける
3. 出かない道もある
4. 出かない

問8 あなたが外に出かけるとき、こまることすべてに○をしてください。

1. 道、出入口に段があること
2. 階段を上ったり下ったりすること
3. 道に邪魔なものがあること
4. 案内、看板などがわかりにくいこと
5. 点字ブロッカー、音のなる信号がないこと
6. 手すり、エレベーターがないこと
7. 障害がある人のためのトイレがないこと
8. いっしょに出かける人がいないこと
9. 歩きたいところへいくための車、電車、バスなどがいないこと
10. 電車、バスなどへの乗り降りが大変なこと
11. 切符を買ったり、お金を払うのがむずかしいこと
12. 自分の気持ち、考えを伝えるのがむずかしいこと
13. 障害や病気のことをわかってくれない人がいること
14. ほかにあれば書いてください
15. わからない
16. 特になし

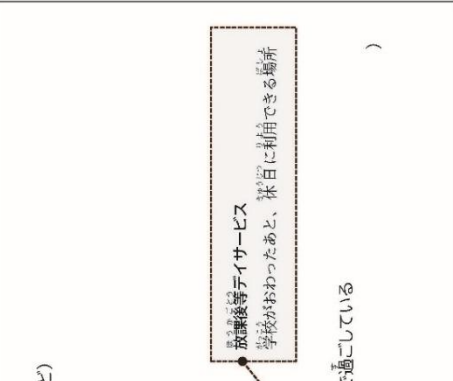
問9 あなたは、平日の昼間、どのように過ごしていますか。すべてに○をつけてください。

1. 学校に行っている
2. 就労継続支援A型・B型、就労移行支援に行っている
3. 会社やお店などで働いている(正社員)
4. 会社やお店などで働いている(アルバイト、パートなど)
5. 自宅で働いている
6. リハビリ、生活訓練を受けている
7. ティーチングなどに行っている
8. 病院、デイケアなどに行っている
9. 散歩、買い物、ごはんを食べに行く
10. 趣味、習いごとに行く
11. ボランティア活動をする
12. ほかにあれば書いてください
13. 自宅や施設などで過ごしている
14. 特になし



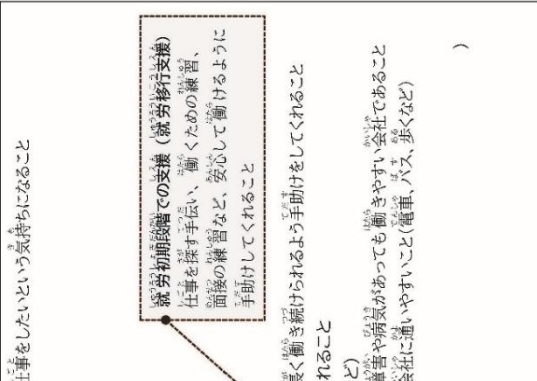
問10 あなたは、平日の夕方から夜や休日、どのように過ごしていますか。すべてに○をつけてください。

1. からだをやすめる
2. 好きなことをする(本を読む、ゲームをするなど)
3. とまどちと話す、遊ぶ
4. からだを動かす(走る、ランニングなど)
5. 散歩、買い物、ごはんを食べに行く
6. 趣味、習いごとに出かける
7. 絵、映画などをみに行く
8. 音楽をききに行く、祭りなどに行く
9. 旅行に行く
10. ボランティア活動をする
11. 仕事をす
12. 料理、掃除など家事をする
13. ティーチング(就労移行支援)を含むで過ごしている
14. ほかにあれば書いてください
15. 自宅や施設などで過ごしている
16. 特になし



問11 あなたは、障害のある人が会社などで働くために大切だと感じること、すべてに○をつけてください。

1. 就職に向けた知識をもつこと
2. 仕事をするための相談ができること
3. 満足するお金ももらえること
4. 家で仕事をできるようにすること
5. 働くための勉強、練習ができること
6. 働くために人と話す練習ができること
7. 働くための体力をつけること
8. 面接の練習、実習ができること
9. 仕事探を手伝ってくれること
10. 就労初期段階での支援(就労移行支援)
11. 就労定着支援・ジョブコーチ
12. いっしょに働く人が障害や病気をわかってくれること
13. 職場環境の整備(介助や援助、バリアフリーなど)
14. 安全な通勤手段の確保(移動支援)
15. 働く日にち、時間、場所が選べること
16. ほかにあれば書いてください
17. わからない
18. 特になし



～ 知りたいことについて ～

問12 あなたは、障書や病氣のこと、使えるサービスについて、どこで情報を知りますか。知るところすべてに○をつけてください。

1. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌
2. 区のお知らせなど
3. 障書者福祉のしおり
4. 区のウェブサイト(スマホ、パソコン)
5. ほかのウェブサイトなど(スマホ、パソコン)
6. 家族、しんせき
7. ともだち、知っている人
8. 来ラテイヤ
9. 障書のある人のグループ
10. 介護や支援の仕事をしている人
11. 相談支援専門員 …………… サービスの利用について相談する人
12. 病院の先生、看護師など
13. 区役所、保健所、こども家庭センターなど
14. ほかにあれば書いてください( )
15. どこで情報を知れぬかわからない
16. 情報を得ることは、持たない

問13 あなたが、何か知りたいときに使う道具(スマホ、タブレット、パソコンなど)、インターネットの利用について、こまっていることはありませんか。すべてに○をつけてください。

1. 自分にあつたものがみつからない
2. 使い方がむずかしい
3. 説明書がわかりにくい
4. 障書や病氣にあつた使った使っている人がまわりにいない
5. 使った使っている人に聞けるサービスがない
6. 費ったり、使ったるためにお金がかかる
7. みんなが使ったる場所、仕事に自分にあつたものがない
8. ほかにあれば書いてください( )
9. わからない
10. 持たない

～ 相談について ～

問14 あなたは、生活の中でこまっていることがありますか。こまっていることすべてに○をつけてください。

1. 学校などでの勉強のこと
2. 病院、リハビリのこと
3. 生活するお金のこと
4. 家族のこと
5. 今の介護や支援のこと
6. これからの介護や支援のこと
7. 働くこと
8. 趣味、生きがいをもつこと
9. いつもいく病院、歯医者が見つからないこと
10. 電車、バス、タクシーなどのこと
11. すむ家のこと
12. 知りたい情報のこと
13. ともだち、相談する人のこと
14. 障書や病氣をわかってもらうこと
15. 結婚のこと
16. やりたい活動に参加すること
17. 年をとったときの生活のこと
18. ほかにあれば書いてください( )
19. 持たない

問15 あなたは、こまつたことがあるときに相談する人すべてに○をつけてください。

1. おとうさん、おかあさん、おじいさん、おばあさんなど
2. ともだち、知っている人
3. 同じ病氣や障書のある人
4. いっしょに働いている人
5. 学校などの先生
6. 民生委員
7. 介護や支援の仕事をしている人
8. 相談支援専門員 …………… サービスの利用について相談する人
9. 病院の先生、看護師など
10. 区役所、保健所、こども家庭センターなど
11. 社会福祉協議会(CSWや権利擁護センター) …… 困ったことを助けてくれる専門の人がいるところ
12. 地域包括支援センター …………… 高齢者などの生活の相談ができるところ
13. 地域生活支援拠点、発達障書支援拠点(ほると) …… 生活の困りごとについて相談ができるところ
14. インターネット上で相談できる場所、人
15. ほかにあれば書いてください( )
16. 持たない

～ 利用したいサービスについて ～

問16 あなたが利用したいサービス、すべてに○をしてください。

1. 居宅介護、重度訪問介護 …… 介護を受けて自宅で生活できるようにする
2. カイロ・マッサージによる移動支援、同行機罩 …… 安心して外出できるようにする
3. 療養介護、生活介護、自立訓練など …… 介護を受けたり、できることを増やす練習をする
4. ショートステイ（短期入所） …… 短い期間、施設などに泊まる
5. 施設入所支援 …… 施設などで暮らす
6. 一般就労に向けた支援（障害者就労支援センター、就労移行支援など）、  
就労定着支援及び就労継続支援 …… 仕事を探す手伝い、働くための練習、面接の練習  
など、安心して働けるように手助けしてくれる
7. 自立生活援助 …… ひとりで生活できるようにする
8. 障害者グループホーム（共同生活援助） …… 少数でいっしょに生活する
9. 計画相談支援 …… サービスが利用できるように相談をして、計画を立てる
10. 地域移行支援、地域定着支援 …… 施設、病院にいた人が地域で生活できるようにする
11. 地域活動支援センター …… 障害のある人といっしょに通ったり、相談などが  
できる
12. 配食サービス …… 家にお弁当などが届く
13. 入浴サービス …… 風呂、シャワーを使ってからたききれにする
14. 補装具、日常生活用具 …… 道具を使って生活しやすくする
15. 訪問看護、重症心身障害者（児）在宅レスパイト  
 …… 自宅に看護師がきて医療などのケアをする
16. 理美容サービス …… 髪を切って、きれいにととのえる
17. 紙おむつの支給 …… 紙おむつを使う
18. 手話通訳者の派遣 …… 手話で話をする
19. 介護タクシー利用券、福祉タクシー利用券、福祉タクシー利用券、福祉タクシー利用券の助成タクシーを使うときの支援  
 …… タクシーを使って移動する
20. 重度身体障害者等非常通報システム …… 急な病気などのときに、助けを呼ぶことができる
21. 地域生活支援拠点 …… 生活の困りごとについて相談ができる場所
22. 発達障害支援拠点（ぼると） …… 発達障害について相談ができる場所
23. ほかにあれば書いてください（ ）
24. わからない
25. 特になし

問17 あなたは必要なサービスを利用できていますか。利用できていない場合は、どうして利用  
できていないかお話しください。すべてに○をつけてください。

1. 使いたいときに使えない
2. 利用したくても、サービスがない
3. 利用したくても、相談ができない
4. 自分の障害や病気で利用できない
5. サービスの回数や時間が少ない
6. どの事業所がいいかわからない
7. どのサービスがあるかわからない
8. どうしたら使えるかわからない
9. お金がかる
10. ほかにあれば書いてください  
( )
11. 特に理由はない

～ 地震、台風などの災害（大きな危険）が起きたときについて ～

問18 あなたが、地震、台風などの災害（大きな危険）が起きたときのために準備しているもの、  
すべてに○をつけてください。

1. 水、食糧
2. 洋服、タオル
3. 薬、紙おむつ
4. 働くためのつえ、筆いすなど
5. 非常用発電機など必要な機器の動力 …… 電気をつくる、ためておく機械など
6. 家の中のテレビ、棚などが倒れないようにする
7. 防災手帳 …… ★下の絵をみてください
8. 防災、救急医療情報キット …… ★下の絵をみてください
9. 避難行動要支援者名簿に登録している …… 助けてもらう名簿に登録している
10. 近所の人に助けを頼んでいる
11. どこに逃げればいいのか確認している
12. 家族などとの連絡、会う場所を決めている
13. 病院の先生の連絡先
14. 訓練に参加している
15. ほかにあれば書いてください  
( )
16. 何を準備したらよいかわからない
17. 特になし

**防災手帳**

この手帳は、災害発生時に必要な連絡先や避難場所などをあらかじめ記入しておくことで、災害発生時にスムーズに行動できるようになります。

※記入の際は、必ずお名前を記入してください。

氏名	住所	電話番号

※記入の際は、必ずお名前を記入してください。



★下の絵をみてください



★下の絵をみてください

問19 あなたが、地震、台風などの災害(大きな危険)が起きたときに必要とする助け、すべてに〇をつけてください。

1. 災害が起ったことなどをおしえてもらう
2. 自分がどこにいるか、けががないかなどを確認してもらう
3. 避難所に行くことを助けてもらう
4. 食べ物、薬を届けてもらう
5. 避難所に行く必要のないものをとどめてもらう
6. 避難所の下し、風呂、ベッドなどの使い方を教えてもらう
7. 避難所の人たちに障害や病気をわかってもらう
8. 避難所で過ごすために必要な情報を教えてもらう
9. ほかにあれば書いてください( )
10. わからない
11. 特になし

～ 自分を守ることにして～

問20 いやなことやなことをされたり、こまったことがあったら、区役所の2階にある『障害者虐待防止センター』に相談、通報ができます。

あなたは、このセンターを知っていますか。(1つだけに〇)

1. 知っている
2. 知らない

問21 『成年後見制度』とは、判断がむずかしいときに、あなたのことを助けてくれるしくみです。あなたは、このしくみを知っていますか。または、利用したいですか。(1つだけに〇)

1. 利用している
2. 知っていて、利用しようと思う
3. 知っていて、利用する予定はない
4. 知らない

問22 『障害者差別解消法』という法律があります。この法律は、障害のある人が差別されないようにするための決まりです。

あなたは、この決まりを知っていますか。(1つだけに〇)

1. 知っている
2. きいたことはあるが、よく知らない
3. 知らない

問23 あなたは、この3年間に何かいやなことやなことを言われたり、サービスを受けられなかったり、いやな思いをしたことがありますか。(1つだけに〇)

1. いやな思いをしたことがある
2. いやな思いをしたことがない
3. わからない

いやな思いをしたことがある人にさきます

問23-① (A)いやな思いをしたところ、(イ)だから、(ウ)どんなこと、すべてに〇をつけてください。

(ア) いやな思いをしたところ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家</li> <li>2. 保育園、幼稚園、学校</li> <li>3. 通っている施設、すんでいる施設</li> <li>4. じゆく、習いごとをするところ</li> <li>5. 会社</li> <li>6. お店</li> <li>7. 病院など</li> <li>8. 図書館、区役所、公園など</li> <li>9. 電車、バス、タクシーなど</li> <li>10. ほかにあれば書いてください( )</li> </ol>
(イ) だから	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. おとうさん、おかあさん、おじいさん、おばあさんなど</li> <li>2. ともだち、知っている人</li> <li>3. 近くに住んでいる人</li> <li>4. いっしょに働いている人</li> <li>5. 学校の先生、介護や支援の仕事をしている人</li> <li>6. 病棟の先生や看護師</li> <li>7. 図書館や区役所の職員</li> <li>8. お店の人</li> <li>9. 知らない人</li> <li>10. ほかにあれば書いてください( )</li> </ol>
(ウ) どんなこと	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. いやな言葉を言われた</li> <li>2. 無視された</li> <li>3. 助けてもらえなかった</li> <li>4. 順番を後にされたり、みんなと同じではなかった</li> <li>5. 段がある、エレベーターがないなど</li> <li>6. わかりやすく伝えてもらえなかった</li> <li>7. ほかにあれば書いてください( )</li> </ol>

次ページの問23-② にすすんでください

問23-② 相談したところすべてに○をつけてください。

1. おとうさん、おかあさん、おじいさん、おばあさんなど
2. ともだち、知っている人
3. いっしょに働いている人
4. 学校などの先生
5. 良生委員
6. 障害のある人のグループ
7. 介護や支援の仕事をしている人
8. 相談支援専門員
9. 病院の先生、看護師など
10. 区役所、保健所、こども家庭センターなど
11. 社会福祉協議会(CSW)や権利擁護センター
12. 地域包括支援センター
13. 地域生活支援拠点、発達障害支援拠点(ほると)……生活の困りごとについて相談ができるところ
14. 内閣府・障害者差別に関する相談窓口「つなぐ窓口」
15. ほかにあれば書いてください( )
16. だれにも相談していない

問24 ~ これからについて ~

1. ひとりですみたい
2. 家族といっしょにすみたい
3. 障害者グループホーム、福祉ホームなど  
手助けや見守りがある少人数のホーム
4. 施設
5. 病院
6. ほかにあれば書いてください( )
7. わからない

問24-① 何年後くらいにすみたいですか。(1つだけに○)

1. 空き室があれば今すぐ
2. 5年以内 ( )
3. 6年～10年以内
4. 11年以上先
5. ほかにあれば書いてください
6. わからない・決めていない

問25 ~ 障害のある人のために ~

問25 あなたは、障害のある人が、安心してくらすために、何が あるとよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 相談支援の充実
2. 必要な情報の取得や戸籍な意思疎通に向けた取り組みの充実
3. 機能訓練や生活訓練の充実
4. 日中活動の場である通所施設の充実
5. 在宅生活に必要なサービス
6. ショートステイ(短期入所)の充実
7. 移動支援や同行支援の充実
8. 住宅に関する情報提供の充実
9. 障害者グループホームなど
10. 早期発見・早期療育体制の充実
11. 障害特性にあった保育、教育の充実
12. 医療的ケア
13. 就労に向けた支援や雇用環境の充実
14. 余暇活動の充実
15. 暮らしやすい活動などの地域活動の促進
16. 利用しやすい交通機関などの整備
17. 障害者差別解消法の普及啓発
18. 障害や病気のことを知ってもらう福祉教育
19. 人権を守る仕組みの充実
20. 緊急時(介助者が急に対応できなくなった時など)対応の充実
21. 災害時の支援の充実
22. 福祉人材の確保
23. ほかにあれば書いてください( )
24. わからない
25. 持っていない

これでわかります。ありがとうございます。  
 こたえを書いた紙は封筒に入れて10月3日(金)までに、ポストに入れてください。  
 切手は貼らなくても大丈夫です。